

令和3年4月28日

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」
第52回（通算第131回）定例会 会議録

- ◆日時：令和3年4月20日（火） PM7：05～8：20
◆場所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室
◆出席者： 21名

別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：05～20：20】

19：05～ 開 会

19：05～19：10 情報提供

19：10～20：20 研 修

「新型コロナウイルス感染症発生と、サービス継続について思うこと」

講師：特別養護老人ホーム愛の園

施設長 崎山 賢士氏

20：20 閉 会

【研修内容】

●講義内容(概要)

<新型コロナウイルス感染症の対応で思うこと>

- 1 感染症対策は水際での対応が重要
→やっぱりマスクをしておくことが大切。
- 2 感染者の発見が遅れば遅れるほど濃厚接触者が増えて、その後の事業運営が難しくなる
→速やかに対応が必要。他にしないといけないことがあっても、こっちが最優先！
簡易抗原検査キットの使用のルールづくりをした
- 3 感染者がいるかもしれない環境を支援してくれるものはほとんどいない
→本人だけでなく、家族の反対も。
助けてくれる人がないことも分かったうえで、事業継続計画を作成する必要あり。

- 4 今回の場合、指揮系統のトップが自宅待機となってしまい、現場の課題を把握することが難しかった
→状況の把握をケアマネにしてもらうことで、課題を把握できた。
- 5 ICTの活用は欠かせない
→ラインミーティングを活用。でも、つながるのに相当な時間を要した。
普段から練習しておかないと苦手な人には役に立たない。
- 6 内外の関係者に対して、正確で過不足がない情報をどれだけ迅速に発信していくかが重要
→フェイクな情報が蔓延してしまうのではないかと不安を訴える職員も。
- 7 事業再開のタイミングと介護サービス事業所の社会的責任
→入浴目的でデイを利用している人もあったので、社会的な責任を感じた
- 8 自宅待機中の心身のコントロールが必要
→自宅でずっといることは精神的につらい。
- 9 岩田幼稚園への誹謗中傷
→すさまじい誹謗中傷があった。園児の関係者からはそんなになかったが、関係のない人からの手紙や電話などが。ひどいことや本人に聞こえるように嫌味を言われたり。
- 10 有事発生を予測した対応計画を作成、その計画に応じた普段の訓練とその計画のブラッシュアップが必要
→事業継続計画（BCP）の策定。3年間の経過措置。もともとは災害時を想定していたが、新型コロナウイルス感染症も含めて策定。

●BCPの策定

- ・平時からの備えが大切
→人員の問題。平時から緊急時に対応することを意識できるようにしておく必要がある。
「覚悟」
- ・初動対応
→対策本部的なものをどのようにして作るか
- ・感染拡大防止体制
→保健所との連携。濃厚接触者へもつながっていることを意識してもらうように電話連絡した

●思うこと

- ・年に何回かは演習をしておかないといけない。机上訓練でもいい。
- ・職員への周知も重要。使えるようなマニュアルでないといけない。
- ・今回の事があって物品も結構買った。ガウンやキャップ、マスクなど。それなりに備蓄を。
- ・ICTを日頃から使えること
- ・防災訓練では地域住民の参加も。
- ・一人で何役もこなせるような体制も必要か。

<質疑応答>

- ・行動履歴はどの程度聞かれるのか
→かなり細かく聞かれるらしい。医療や介護の従事者はきちんと書いておく必要あり。

【意見交換】

感染者増加に伴い、意見交換なし

※定例会開催にあたっての感染症対策

- ・体調確認と非接触型温度計による体温測定
- ・手指消毒
- ・マスク着用
- ・定例会後の机、いすの消毒
- ・換気

【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

日時：令和3年5月18日（火） 午後7時～

場所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室

内容：未定